

～ターンでトマト農家に～ 辻本 京子さん（西予市（旧城川町））

企業組合 遊子川ザ・リコピンス 代表 1953 年生まれ
ホームページ <http://yusukawamoriagetai.com/>
フェイスブック アカウント名：ザ・リコピンス



☆経営概況☆

夫婦で夏秋トマト（20a）の雨よけ栽培に取り組んでいます。また遊子川トマトオーナー制度圃場の管理や、企業組合ザ・リコピンスとして「食堂ゆすかわ」の運営、トマトゆずポン酢やケチャップなどの加工品の製造・販売に取り組み、地域のリーダーとして活躍しています。

☆ここがポイント☆

■知人のお誘いがあったからこそ！

自分を取り巻く環境にいろいろと状況変化があって、人生の後半は農業でゆっくりと過ごしたいなと思っていたところ、愛媛の知人が「遊子川に来ないか？」と声をかけてくれました。そこでいい機会と思い、奈良県から移住し就農することを決心しました。

■農業のいいところって？

農業を知らないから、就農できた部分はあると思います。7月～9月はトマトの出荷ですごく忙しいです。でも農業で1日が終わっての「あーしんどい」は、勤めていたところの「あーしんどい」とは全然違います。笑顔で「しんどかった～」「疲れた～」と言える充実感があります。

■農産物の加工をやりたい！

毎日のように廃棄される1、2割の規格外トマトが、もったいないのでどうにかならないかと思っていました。加工品を作る仲間を探していたところ、遊子川地域活性化プロジェクトの一環で、加工品開発するようになり、トマトゆずポン酢の製造・販売に取り組むこととなりました。現在は企業組合化してザ・リコピンスとしてケチャップやドレッシングなどの商品の製造・販売にも取り組んでいます。

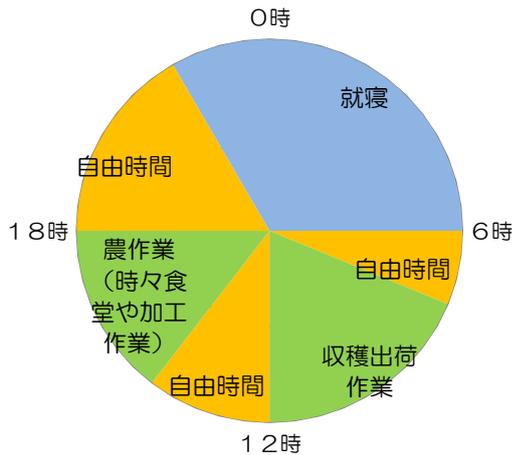


夫婦でトマトの収穫



収穫後の選果作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

2月～4月は土づくりやハウスの準備、5月～6月は定植・苗の管理、7月～9月は繁忙期で毎日トマト収穫、休みはほとんどありませんが、10月～11月は隔日制の収穫となり、12月はハウスの片付けを行います。12月末～1月末は故郷の奈良へ帰省し、冬休みとなります。夏休みがない分、冬休みを長めに取り温泉巡りなどを行っています。繁忙期以外は週に1～2回、買い物や趣味の時間に充てています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	7月から9月末までの間は基本的に休みなし					
← 収穫・出荷 →						
【普通期】	週2回休みをとる場合もあります					
← 栽培管理やリコピンの活動 →					休日	← →



商談会でのようす



トマトオーナー制度でのようす

☆これからの夢や目指すもの☆

今後も高品質なトマトづくりや、新たな加工品の開発に取り組み、多くの方に味わっていただきたいです。また自分たちの活動を通じて、遊子川への1ターン、Uターンなどの農業の担い手の確保や、地域雇用の創出、トマトのブランド化につなげていきたいと考えています。

☆メッセージ☆

農業を新たに始めるには女性が腰を上げないと、男性だけではだめになることが多く、やはり女性の力が重要だと思います。男性と女性は能力が違う。けど、その違いを上手く利用して、それぞれが協力して農業をすることが大切だと思います。